

令和3年度の針路



～市政執行方針・教育行政執行方針・
令和3年度当初予算の概要～

2月から3月にかけて開会した『令和3年第1回市議会定例会』。令和3年度予算案や条例改正案などを審議・議決しました。

初日となった2月22日(月)には、小笠原春一市長が、今年のまちづくりをどのように進めていくかを示す『市政執行方針』を、武田博教育長が市の進める教育のあり方を示す『教育行政執行方針』を発表しました。

今号では、両方針の概要と関連する事業費、令和3年度当初予算の概要について、お知らせします。



市政執行方針

※要約・抜粋しています。



小笠原 春一 市長



市政執行方針の全文は、市公式ウェブサイトでご覧ください。

はじめに、新型コロナウイルスがまん延するなか、命を守り生活を守るため、最前線に対応されている医療、介護、保育に従事する皆様をはじめ、全ての関係する方々に、厚く御礼を申し上げます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図り、さらに市民に寄り添う行政を目指し、最善を尽くしていきます。

私は、令和2年8月の市長選挙において、4期目の市政を担うこととなり、改めてその職責の重さを感じるともに、今一度、初心にかえり覚悟を持って、50年後を見据えた健全で持続可能な『小さくともキラリと光る成熟都市』を目指し、取り組んでいきます。

令和3年度は、これからも多くの皆さんが登別市に住みつづけた

3つの重点施策 *Important themes*



未来を見据えて、
着実に前進するまちづくり

まちづくり 防災
環境 行政改革



未来につながる、
誰もが充実した生活を
送られるまちづくり

子育て 教育 福祉



未来を切り開き、
活気にあふれ賑わいのある
まちづくり

観光振興 アイヌ施策 経済対策

い、住んでみたいと思える魅力あるまちに向けた飛躍の年にできるよう、3つの重点施策を柱に、市政執行にあたっていきます。

社会構造の転換期を迎え、パラダイムシフトによる価値観の転換が求められる今、前例にとらわれないことなく挑戦し続ける姿勢こそが、この困難な時代を乗り越える原動力になると確信しています。

50年後を見据え、子どもたちや孫たちに、魅力ある登別を残していけるよう、市民、団体、企業など緊密な連携を取りながら、これまで以上に魅力あるまちに向けた取り組みを進めていきます。

現在、ソーシャルディスタンスによる物理的な距離は広がりましたが、敬愛と思いやりの心を持つことで心の距離は縮まるものと信じています。人を敬い、謙虚な姿勢を持ち、慎んで行動することで、さまざまな局面において市民の皆さんと共に乗り越えていきたいと決意を新たにしています。

子どもたちが希望を持つことができ、幅広い世代間で共に見守り、支え合いながら、自分らしく暮らせる『誰一人取り残さない社会』となるよう、全職員と力を合わせ、一枚岩となって取り組んでいきます。